

ひょうごかぞくねっと

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第53号

ウィズコロナ〈私たちにできること〉



未だ終息を見せないコロナ禍に明け暮れて3年目の夏、皆様にはそれぞれのお立場でおかわりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

各施設家族(保護者)会におかれましても感染防止対策にご配慮頂き活動等も余儀なく、縮小若しくは中止せざるを得ない状況が続いておりますことに大変憂慮しています。

さて、ひょうごかぞくねっとの本年度総会もご案内のとおり、5月25日理事会、6月21日の評議員会をもってご承認・可決頂き、山口英治会長のもと本会活動がスタートしました。

先の研修会等(ウィズコロナ)禍にあって、「行動することが大切」との会長の先進的ご判断を共有しつつ、諸課題に向かってこの難局を皆様とご一緒に進行させてまいりたいと考えています。

誰もが初めて出会った新型コロナウイルスの流行拡大、まさかここまで長期間続くとは思っていませんでしたのは私だけでしょうか……。

昨今、連日のように唾然とする事の何と多いこと。

他に類を見ないとまで云われてきた日本の安全神話、一体どうなったのか……疑うすべもありません。新型コロナウイルスは勿論、気象変動による

ひょうごかぞくねっと副会長

西中播磨かぞくねっと会長 木村 政照

各種災害、凄惨(せいさん)な凶悪事件、事故をはじめ、弱い立場にある障がい者等に対する悲痛極まる虐待、人権問題等々何れを取ってみても日々の生活を脅かす「異常」としか言いようのない出来事多発には驚異を越えた一瞬恐怖さえも覚えます。

何時何処で何が起こるか分からない又起こっても不思議ではない時代、心に留めておかないといけない不安極まる大変気掛かりで不透明な時代に思えてなりません。

この時にあって、私たちに求められている役目とは……、一歩立ち止まって考えてみると、先人が築き上げて来られた「ひょうごかぞくねっと」組織の原点に立ち返り、家族(保護者)会に出来ること又なすべきこと……とは何か。

今一度プラス思考でピンチをチャンスに再認識する良い機会と捉え共有することが大切な時ではないでしょうか。

ウィズコロナ、私たちひょうごかぞくねっと、各家族(保護者)会の一層の連携と情報共有・会員の確保、組織の存続等、本年度活動計画4項目の目標は高く掲げ、達成は低くても一つでも可能性を見だし、一歩一歩着実に結び付けられるよう一致団結、物言えぬわが子らに代わって共に前進しましょう。

【事務局】 〒650-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター2F 2022年8月16日発行第53号

電話 078(371)3930 FAX078(371)3931 Email: hyogokazokunet@gmail.com 表紙題字/沼野 聡美氏

発行人/兵庫県知的障害者施設家族会連合会(ひょうごかぞくねっと) 編集人/広報委員会

URL: <http://h-kazoku.ivory.ne.jp/>

2021年度事業報告・決算報告/2022年度事業計画・会計予算

2022年度評議員会は、6月21日(火)10:30~11:50 神戸市立総合福祉センターとオンラインで開催致しました。3年ぶりに皆様とお会いすることができました。貴重なご意見をありがとうございました。

- 議題**
- 第1号議案 2021年度事業報告について
 - 第2号議案 2021年度会計報告・監査報告について
 - 第3号議案 2022年度事業計画(案)について
 - 第4号議案 2022年度会計予算(案)について
 - 第5号議案 監事辞任・後任候補選出について



会場・オンライン挙手多数により、全ての議案において承認されました。

2021年度会計決算報告

2021.4.1~2022.3.31 (円)

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,451,800
寄付金・保険手数料	385,332
雑収入	2,722
負担金(全施連から給与手当他)	1,230,000
前年度繰越金	4,262,619
合計	10,332,473

2. 支出の部

会議費・旅費	27,567
印刷費	64,847
通信運搬費	278,781
研修費	800,000
事務消耗品費	252,525
減価償却費	113,973
負担・分担・渉外費	290,837
給与手当(全施連給与手当含む)	2,600,000
法定福利費・福利厚生費	632,627
雑費	543
新聞図書費	6,600
次期繰越金	5,264,173
合計	10,332,473

2022年度会計予算

2022.4.1~2023.3.31 (円)

1. 収入の部

会費(賛助会費含む)	4,602,000
寄付金・保険手数料	350,000
雑収入	3,000
負担金(全施連から給与手当他)	1,230,000
前年度繰越金	5,264,173
合計	11,449,173

2. 支出の部

会議費・旅費	170,000
印刷費	120,000
通信運搬費	360,000
研修費	1,000,000
事務消耗品費	350,000
減価償却費	56,987
負担・分担・渉外費	310,000
給与手当(全施連給与手当含む)	2,600,000
法定福利費・福利厚生費	640,000
雑費	10,000
新聞図書費	6,600
予備費	5,825,586
合計	11,449,173

【役員辞任及び後任について】

辞任: 楯 順(監事)(こうべ・ひふみ園)

後任: 久保田 忠幸(東・北播磨・淡路 あかりの家)

辞任される楯様、長きに渡り、ひょうごかぞくねっとにご尽力賜り、感謝申し上げます。

後任の久保田様、どうぞ宜しくお願い致します。

【委員会について】

今年度も昨年度に続き、委員会については、コロナ収束後に委員会の構成メンバーや活動テーマを改めて検討することとします。広報部は機関紙発行がありますので、昨年と同じメンバーで活動致します。

■2022年度活動計画■

1. 行政機関への陳情と意見交換

「ひょうごかぞくねっと」として県知事・政党へ団体要望を提出していきます。行政・議員と意見交換を行い、請願・陳情の提出をしていきます。

A. 新型コロナウイルス感染拡大や災害における対応

未だ収束を見ない新型コロナウイルス感染に対して感染防止対策の強化をしていくため、兵庫県知的障害者施設協会と協議・連携し、行政に要望していきます。いつ発生してもおかしくない東南海地震に備え、福祉避難所の充実と通所等利用者家族が直接避難できる体制づくりを要望していきます。

B. 24時間一貫した快適な入所施設の新設の請願の継続

「終の住処づくり」として、親亡き後安心して託すことのできる施設(例えば医療機関と連携・提携している施設等)を実現するため、請願活動を続けていきます。

2. 組織の強化

ひょうごかぞくねっとの原点に立ち返り、組織の強化を図ります。

- ・各施設の家族会を維持するための相談強化を図る
- ・組織の基盤強化のために、各地区の課題に取り組む

3. 活動力強化の研修会

研修を通して共通理解を深め、共に活動していきます。

- ・知的障害者施設の利用者の福祉の向上を図り、その豊かな生活と権利を護る研修会
- ・「親亡き後」に備えて安心できる制度や仕組みを考える研修会
- ・兄弟姉妹を対象とした研修会(障害者制度を理解するための研修会)
- ・情報交換のための家族会内部問題検討会

4. 友誼団体との連携強化

障害福祉の向上を願う知的障害者団体との連携を強めることが大切です。

- ≪具体案≫ ①福祉7団体の会の主催団体として積極的に取り組む ②兵庫県知的障害者施設協会との意見交換、話し合いを行う
- ③手をつなぐ育成会をはじめ各種団体の活動に後援団体として協力する

■各地区かぞくねっと活動計画

【阪神】昨年度もコロナ禍で地区活動ができない中で高齢化も進む中、なかなかオンライン活動も無理な状態なので全く動いておりません。一日も早いコロナ終息を願い、ウィズコロナも考慮しつつ延期になっている研修会を今年度は是非実現したいと思っています。

研修会:「障がい者の医療ケアをどうするのか？」

医療ケアが必要な時、知的障がい者施設には医療がない中、今のところで環境を変えないで生活するにはどうしたら良いのか? 医療機関との連携や行政への働きかけをどのようにしたらよいのかを講演していただきます。

【こうべ】3年後のこうべかぞくねっと構想に基づきアクションプランを実施していきます。神戸市に特化した活動内容をHP上に具体的に示していきます。オンライン研修を含めたウィズコロナ時代の仕組み仕掛けに挑戦します。

- 1.理事会 年4回
- 2.三役会 年1回
- 3.会長会(評議員会) 年1回
- 4.研修会 年1回
- 5.HPの見直し 随時
- 6.主催・共催 年1回 ジョイフルコンサート・こうべ障がい者芸術フェスタ・こころのアート展
- 7.神戸市福祉局 神戸市社会福祉協議会 神戸市知的障害者施設連盟 家族会 友誼団体との関係強化 随時

【東・北播磨・淡路】コロナ感染拡大の中で、活動がストップの2年間でした。その後の状況をみながら、会長会・研修会を進めていきます。早く収束を願っています。

- ・理事会 3回
- ・会長会 2回
- ・研修会 延期になっている「齋藤施設長の研修」調整

【西中播磨】未だ終息の兆しを見せない新型コロナウイルス禍、度重なる緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置に関する喚起が寄せられ、解除はされたもののオミクロン株をも含む第7波の感染拡大が懸念されている現下、今後の動向に注視しながら順応に対応していきたい。

理事会開催 7月、9月、2月

会長会開催 7月、9月、2月

ブロック研修会:

日時 10月30日(日)10:00~ オンライン(Zoom)

講師:関西福祉大学 名誉教授 佐伯 文昭氏

演題:「意思決定支援について」

講演終了後、愛心園 施設紹介

【但馬・丹波】GW が終わりその影響を受け、但馬・丹波の施設でも施設と職員と利用者がオミクロン株に感染しました。マスコミでも第7波が懸念されていますが、6/4 に理事・会長会の会議を開催する事にしており、今後の取組みについても活動計画を再度検討する事に致しております。

理事・会長会:4/5、6/4、9/24、1/28、3/25

施設見学:当分延期

浜坂親子一泊旅行:未定

■2022 年度活動予定

月	日	行事	内容	場所
4	8	第1回正副会長会	年間計画	オンライン
4	28	会計監査	2021 年度会計監査	事務所
5	11	第2回正副会長会	理事会に向けて	オンライン
5	25	第1回理事会	前年度報告・今年度計画	福祉センター・オンライン
6	21	評議員会	ひょうごかぞくねっと総会	福祉センター・オンライン
※6	30	全施連社員総会	総会・年間計画	書面開催
7	22	第3回正副会長会	今年度活動について	福祉センター・オンライン
8	29	第2回理事会	中央研修会について	福祉センター・オンライン
11		中央研修会	未定	福祉センター・オンライン
1	中旬	第4回正副会長会	第3回理事会に向けて	福祉センター・オンライン
2	中旬	第3回理事会	今年度活動報告・次年度	福祉センター・オンライン
未定		家族会内部問題検討会(意見交換会)		未定
未定		兵庫県知的障害者施設協会懇談会		未定

※全施連活動

一年ぶりの面会

但馬・丹波かぞくねっと 理事 佐山 忠行

7月17日朝に一年ぶりに子供の面会に出かけました。先日は3回目のワクチン接種をして38度の熱が出たとの事ですが、回復して仕事に出て、面会も元気な姿を見せてくれました。鉛筆、ノートが大好きで、何時も月曜日から金曜日は、近くの「あおぞら」軽作業、土日祝は私が差し入れた車の本、ノートを眺めています。

面会はできましたが、今年もお墓参りが叶いそうにありません。

コロナにより、相次いで行事が中止となりました。但馬・丹波かぞくねっとも昨年度も休眠状態となりました。4月5日には久しぶりに役員会を開催致しましたが、何処も昨年と変わらない状況でした。6月4日の役員会では、6施設のうち4施設で新しい役員が交代となり、今年こそは活動しようと意気込みを見せていた矢先、オミクロン株の変異BA4・BA5ウイルスが全国的に爆発的な広がりを見せてきました。完全に第7波が押し寄せています。感染者が30代未満の未接種に感染者の方が大幅に増えています。経済と感染予防の両立は難しいと感じます。長いトンネルから一日も早く抜ける事をお祈り致します。

いじめ、子育て放棄、虐待、荒んだ人間社会の中で、我が家ではツバメが子育ての最中ですが、可愛いひな鳥を育てる姿を育児放棄、虐待、自分本位の生活者の方に見てほしいですね。4羽のひな鳥達が一生懸命に子育ての親鳥に支えられて、7月下旬から朝早く、南の国に飛び立つ練習をしています。巣立ちも間近なようです。また来年も3月頃には日本に戻ってくることを楽しみにしています。



〈編集後記〉

先日、神戸で開かれたBEGINのコンサートに行ってきました。私の周りは、60代70代と見受けられる人ばかり。1階席では同年代と思われる人が、コンサートの後半1時間半程、ほぼ立ち通しで手を振って楽しんでいました。

昨今、家族会の高齢化で家族会存続が困難になって来たとの声が届く様になって来ました。私たちが年令に負けず頑張らなければ、福祉の向上は望めません。若い力も育てながら、共に進んで行きましょう。(S.U)